

第 53 回自然災害科学総合シンポジウム

「- 新技術が拓く防災研究の新たな地平 -」

主催：京都大学防災研究所自然災害研究協議会

後援：静岡県

日程：平成 28 年 9 月 22 日（木）～23 日（金）

場所：静岡県地震防災センター

〒420-0042 静岡県静岡市葵区駒形通 5 丁目 9 番 1 号

参加費：無料（準備の都合上、事前申込にご協力ください。当日参加も可能です。）

※お名前、ご所属を「shizensaigai@dpri.kyoto-u.ac.jp」までお知らせください。

頂きました情報については、本シンポジウム以外の目的で使用することはありません。

プログラム

〔9 月 22 日： ないふるホール〕

12：30～ 受付

13：30

開会挨拶

自然災害研究協議会 橋本 学（京都大学防災研究所）

13：40～14：30

【科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究平成 27 年度報告】
「2015 年ネパール地震と地震災害に関する総合調査」

研究代表者 矢田部龍一（愛媛大学大学院理工学研究科）

14：30～15：20

【科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究平成 27 年度報告】
「2015 年口永良部島噴火に関する総合調査」

研究代表者 井口正人（京都大学防災研究所）

15：20～15：40 休憩

15：40～16：30

【科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究平成 27 年度報告】
「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による災害の総合研究」

研究代表者 田中茂信（京都大学防災研究所）

16：30～17：10

【科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究平成 28 年度報告】
「平成 28 年熊本地震災害に関する総合調査」

研究代表者 清水 洋（九州大学大学院理学研究院）

17：10～17：30 総合討論

18：00 交流会

[9月23日： 大会議室]

【平成26年度京都大学防災研究所重点推進型共同研究「自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の活用に関する研究」】

9：10～9：50

都市防災における「ビッグ」データ利用の実態と可能性

加藤 孝明（東京大学生産技術研究所）

9：50～10：30

災害対応を支える地理空間情報の新技術

宇根 寛（国土交通省国土地理院）

10：30～11：10

日本海溝海底地震津波観測網（S-net）について

植平 賢司（防災科学技術研究所）

11：10～11：50

先端技術と歴史的治水の融合で豪雨災害から身を守る

大石 哲（神戸大学都市安全研究センター）

11：50～12：00 総合討論

12：00 閉 会